

総務厚生委員会

付託議案の審査

◆議第81号～議第83号

議員報酬・市長など特別職の給与・市職員等の給与に関する条例の一部改正

●人事院勧告に準拠する理由は、

●市では独自の調査機関や人事委員会を持っていないため、職員給与の改正は人事院勧告に準拠しており、特別職や議員についても国の指定職相当に準拠す

ることとしている。
●条例改正による影響額は、

●職員は諸手当も含め7,870万円、特別職が50万円、議員が180万円、総額8,100万円と試算している。
●特別職報酬等審議会を開催しなかった理由は、

●審議会は、特別職の給料または議員報酬の額を改定する場合に開催することとしており、今回は人事院勧告に準拠する期末手当のみの改正であることから開催していない。
●職員の給与に関し、他に諮問できるような民間の審議会等はないのか。

●職員は、市長が雇用していることから、職員給与は人事院勧告に準拠して市長の責任において判断している。
●今年度と来年度の勧告内容に差がある理由と国のねらいは、

●平成26年度は従前のとおり、全国の民間給

与との比較から出された勧告であるが、平成27年度については、民間給与の低い地域を基準とし、高い地域は手当により調整するよう方針が変更されたことにより差が出たものである。

◆議第84号

●国民健康保険条例の一部改正

●産科医療補償の対象者の状況は、

●平成21年1月の給付開始時、全国で対象者を800人と想定していたが、平成25年度の給付実績では481人となっている。減少理



由は、出産件数の減によるものと認識している。

●産科医療補償制度において、対象者の漏れ等はないか。

●本制度は病院が加入する制度であり、病院が補償制度に未加入の場合を除き漏れはない。

分野別市民意見

交換会の報告

【12月18日】

アルプス展望公園 スカイパークを守る会 ……5名

●テーマ

新火葬場についての要望書

●新火葬場について、9月に要望書が提出され、地域別市民意見交換会においても多数のご意見をいただきました。候補地の問題点などについて、代表の方々と意見交換を行いました。

第二あゆみ学園開設の成果

【11月28日】第二あゆみ学園運営者・利用者代表…5名

テーマ…障がい者福祉施策の検証と課題について

議会提言により、平成25年に開設された第二あゆみ学園の効果や課題等を検証するため、社会福祉協議会や利用者代表の方々とは分野別市民意見交換会を行いました。

●主な意見

- 1日10名の定員で、個別支援計画に基づき、2～5名の小集団で指導活動を行っているが、1週間で約50名が利用され、飽和状態となっており、待機児も発生している。
- 「落ち着いて話が聞けるようになった」「できることが増えた」「友達と遊べるようになった」などのアンケート回答もあり、開設の効果は確認できる。

●考察

- 療育の多様な担い手の活用で飽和状態を緩和できる可能性もあることから、地域に根差したサービスの在り方や利用者のニーズを整理する必要がある。
- 開設の効果は確認ができたが、療育全般については早期発見し療育につながる仕組みが確立されていないため、保護者のニーズを捉え切れていない。
- 発達に応じた「切れ目ない支援」の仕組みが必要で「発達障がい支援センター」の開設が求められる。

